



### 災害に備えて古文書の現状を把握する

浜松市博物館では令和七年度に、静岡文化芸術大学の西田かほる教授と新妻淳子准教授と共同で、佐久間地区を対象とした古文書の所在調査を行いました。

この調査の目的は、災害に備えて古文書がある場所（所蔵者）や保管状況を把握しておくことです。災害が発生してから古文書がどこにあるかを探しては、それらを救い出すまでに時間がかかってしまいます。事前に古文書の所在や保管状況を把握しておくことで、災害発生時に早く確認の動きがとれます。

調査にあたっては、昭和四十一年（一九六六）から昭和五十七年（一九八二）にかけて刊行された『佐久間町史』に掲載された古文書の所蔵者の情報を手掛かりとしました。そこに掲載された古文書の所蔵者が現在も同じ人なのか、代替わりしているのかということや、もうすでに佐久間地区から出てしまっているかということ等について、佐久間支所の協力を得ながら調査を進めました。

所蔵者について調査を進めると、すでに佐久間地区から出てしまっていたり、家は

残っているが普段は住んでいなかったりして連絡がつかないケースが多くありました。また、連絡がとれて実際に訪問調査を試みても、代替わりのため、古文書があることが次の世代に伝わっていないかったり、保管場所がわからなくなったりして、古文書が確認できないケースもありました。結果としては、『佐久間町史』に掲載された古文書群の内、実際に今も残っていることが確認できたのは約三割でした。

『佐久間町史』編さんから時が経過することにより、多くの古文書が確認できないという状況は、貴重な文化財である古文書の継承という点からいっても深刻な状況といえます。

このような状況の中、古文書を現在も保管していることが確認できた所蔵者については、保管のためのアドバイスや実際に古文書を見ながらどのようなことが書かれているかを簡単に説明を行いました。内容を理解することが、古文書の継承の動機付けにもなると考えられます。

そして、古文書の所在確認を通じて、各地区にある古文書からどのような歴史情報

が読み取れるのかということを再認識する機会にできればと考えています。

各地区に残されている古文書は一見して似たようなものも見受けられます。しかし、それぞれの地区は、その名称や、そこに住んでいた人、慣習等が異なります。同じようなものがあるからといって、ある地区の古文書を捨ててしまえば、その地区の歴史は失われてしまいます。

また、徳川家康や豊臣秀吉のような天下人等有名な人が書いたものが、古文書として価値あるものと考えられがちですが、ある村の歴史を知ろうとすると、一般的には無名の人が書いたものでも、その村の生活に関わる内容の文書の方が、その村の歴史を知るためには大切なものといえます。

この古文書の所在調査成果については、本年五月二十一日に佐久間歴史と民話の郷会館で佐久間地区の方々へ向け報告会を行いました。このよう  
な取り組みを行いながら、災害に  
えるとともに、各  
地区の歴史の再認  
識につなげていき  
たいと思います。



▲佐久間町史掲載の古文書の確認作業

## 【博物館所蔵資料の紹介】

### 絵はがき 浜名湖ホテル



この絵はがきにある写真は、中央区舞阪町弁天島にあった浜名湖ホテルをうつしたものです。

浜名湖ホテルは昭和 13 年（1938）3 月 13 日に弁天島の乙女園で開業しました。浜名湖ホテルの建物は木造 2 階建（一部 3 階）でした。

ホテルの内部は洋風で、料理はフランス料理が出されていました。客室は 22 室で、小規模なホテルでした。

宿泊客は東京方面から来る人々が多く、アメリカ人の宿泊客もあったようです。また、浜名湖ホテルの宿泊客のために、弁天島駅から馬車による送迎を行っていました。

この浜名湖ホテルの経営は順調とはいえず、昭和 14 年（1939）秋に閉業し、その営業期間は 2 年足らずという短い期間でした。

そして、浜名湖ホテルの建物は最終的に昭和 32 年（1957）に買収、解体をされ、箱根に移築をされました。そのため、弁天島にその建物は残っていません。浜名湖ホテルが建っていた場所は現在、東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所の敷地となっています。

【参考】『舞阪町史』中巻（舞阪町、1996）

## 催し物のご案内

- ★小展示「5 世紀の伊場遺跡」
- ★小展示 伊場遺跡群出土木簡 重要文化財指定  
答申記念「7・8 世紀の伊場遺跡」

- ★小展示「光明山古墳」  
小展示はいずれも開催中～6月23日（火）

- ★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし  
7月11日（土）※8月はお休みします。  
14:00～14:30  
会場 旧高山家住宅（蜷塚公園内）



- ★テーマ展「糸を紡ぐ 布を織る」  
8月1日（土）～10月4日（日）  
糸づくりの道具や機織りの道具とそれに関連する資料を紹介  
します。8月8日（土）10:00～10:30 にはギャラリ  
ートークを開催します。

- ★コーナー展示「ありがとう陳列館」  
8月1日（土）～10月4日（日）  
今年度解体を予定している旧浜松市立郷土博物館蜷塚分館の  
陳列館（1964 年竣工）と収蔵庫（1960 年竣工）の建物に  
ついて、その歴史を紹介いたします。

- ★常設展ギャラリートーク（申込不要）  
8月1日（土）10:30～11:00  
臨時休館中（6月30日（火）～7月31日（金））に展示の  
入れ替えを行う弥生時代から古墳時代にかけてのエリアで行  
います。

- ★常設展映像コーナー「遠州大念仏」  
8月1日（土）～8月30日（日）

- ★社会科自由研究アドバイス会  
8月1日（土）・2日（日）  
10:30～11:30（申込不要）

- ★夏休み体験館  
8月11日（火）～16日（日）  
糸紡ぎ体験や縄文風ミニラグづくり、まが玉づくり等の体  
験・ガイドイベントを日替わりで開催します。

- ★県民の日  
8月21日（金）  
観覧料無料  
蜷塚遺跡ガイドツアー 10:30～11:30

左から  
ホームページ  
X（旧ツイッター）  
インスタグラム



※各事業の詳細は、HP や SNS でご確認ください。  
※イベントは、変更、中止になる場合があります。

浜松市博物館 開館時間：9 時～17 時

6 月～8 月の休館日：6/1,8,15,22,24,29 6/30～7/31（※ 照明設備改修工事のため臨時休館）8/3,10,17,24,26,31

〒432-8018 浜松市中央区蜷塚四丁目 22 番 1 号 電話：053-456-2208 FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/